

湖西市未来ビジョン会議 事前質問事項一覧

No.	施策	施策名：施策または基本事業の成果指標	回答	委員
		質 問		
1	4	地域医療：地域医療体制に満足している市民の割合 「満足」「やや満足」の回答が全体の46.3%となったとのことですが、独身・家族世帯（子なし・子あり）、年齢などの属性で分けた時に傾向の違いがありますか？	年齢別でみると、30歳代が「満足」、「やや満足」の回答が52.5%と高い割合となっているため、いわゆる子育て世帯において満足度が高いと分析できます。性別では、やや男性の方が高い割合となっていますが、あまり差異はありません。また、居住区別では白須賀中学校区が他中学校区に比べて低い割合となっています。	遠藤委員
2	9	公共交通：高齢者の自動車依存率（70歳代以上） 2021年度の数値が平日と休日の2つの記載の意味は？この割合が20%も増えている理由があればお願いします。	コーちゃんバス、タクシーの運行が平日のみの運行となるため、令和3年度からの市民意識調査では平日と休日を分けて移動手段の調査を実施したことにより、平日と休日に分けたすうちとなりました。 R3実績については、R3調査の回答項目不備により「本人運転」、「家族が運転する車への同乗」が合算された数値となってしまったため大幅な増加となりました。R4調査では、上記部分を修正し調査を行っています。	森谷委員
3	10	結婚・出産・子育て：子育て世代にとって住みやすいまち満足度 2019年65.8%→2021年56.6%へとダウンしていますが、具体的には何が原因なのか、分かる程度でよいので教えて欲しい。次へのステップの手がかりになるかも？	56.6%うち「まあまあ思う」と回答した人が2019年→2021年で10.6%減少し、逆に「わからない」と回答した人が2019年→2021年8.5%増加していることから、市の実施している子育て支援事業等が周知されていないことが要因の一つではないかと考えられます。令和3年度末から行っている市公式LINEを活用した情報配信を含め、子育て世帯に役立つ情報を適切なタイミングで配信していく予定です。	白井委員
4	14	モノづくり産業の活性：モノづくり産業ネットワークの構築 具体的にどういったイベントなどを実施したのか、また、2022年度を見据えて検討していることがあれば、教えてください。 ※連携して何かできないか模索したいため	2021年度は、モノづくり人材の育成を目的に、鷺津中学校の2年生を対象とした市内企業による職業講話の実施と、湖西市商工会と連携し、湖西高校の2年生を対象に、製造業を中心とした就職ガイダンスを開催しました。 2022年度は、子ども達にモノづくりを体験してもらうために、ミニ四駆工作教室を開催しました。今後は、高校生を対象とした就職イベント、両商工会と連携した小学生向け体験型イベントの開催を予定しています。	遠藤委員
5	16	工業・商業：第二次・第三次産業の事業所数 事業所数が2021年度大きく減少しています。傾向として、業種・規模・要因等の傾向としてどこが大きく減少しているのか、詳細がわかれば教えてください。 また、事業所数の増加要因となる創業支援の状況、課題感等をお教えてください。	2016年度と比べた場合、湖西地区では、ほぼ同程度の事業者数であり、新居地区では、製造業、建設業、サービス業等すべてで大きく事業所数が減少しました。東日本大震災の影響等で、事業所の移転、廃業等が進んだことが要因ではないかと推測しています。 詳細な業種、規模等の事業所数については把握できていませんが、創業支援については、湖西市「佐吉の郷」スタートアップ支援事業の一環として、令和3年度に湖西市空き店舗等利活用出店補助金を創設し令和3年度は2件、令和4年度は現時点で4件の新規創業に支援をしております。加えて、令和4年度は、クラウドファンディング利用手数料補助事業を創設し、中小企業の支援を始めました。市内における賑わいの創出、商業の活性化、新ビジネスの創業支援を目的として、個別の商店の魅力を向上させたり、若い経営者による新たな店舗設置などで、様々な年代の人が楽しめるまちの賑わいづくりにつなげる予定です。	遠藤委員

6	17	農業・漁業：一次産業従事者数 一次産業従事者数（認定農業者数+浜名漁協正組合員数）となっていますが、増加の目標設定は、どのような考え方がお教え願います。 高齢化等により一次産業従事者数は減少してきており、農地の集積・集約化や企業の経営などにより大規模化などを推進していると認識していますが、指標の従事者数の増加の根拠と施策がマッチしていないのか？	目標値の設定につきましては、浜名漁協正組合員数は横這い若しくは高齢による若干の自然減を想定しておりました。認定農業者につきましては、認定農業者相当だが、計画未提出の農業者が多数おり、増加見込みです。 補助や融資を受け経営の安定、規模拡大を図るため、また、中間管理事業を活用するためには、市人・農地プランによる中心経営体に位置付けられる必要があります、当市は認定農業者を中心経営体としているため、認定農業者を増加することは、必要な施策の一つであると捉えています。	森谷委員
7	18	住環境：土地の有効活用促進 2021年10月に土地提供者及び宅地開発事業者に対する補助制度を導入した結果、どんな状況か教えて欲しい。	現時点で補助金を交付した実績はないが、相談は土地提供者側、開発事業者側、双方から来ている状況です。宅地開発については地権者や開発業者との調整等に時間が必要するため、状況を注視していきたいと考えます。	白井委員（しらゆりこども園長）
8	18	住環境：畜産臭気対策 天候や風向きによって大変悪臭を感じることがありますが、現在どのような状況なのか説明してほしい。	市内では、畜産業を起因とする臭気だけでなく、田畑の肥料等により臭気が発生することもございますが、鷺津地区、新所原地区を中心に、天候、風向きにより養豚の臭気を強く感じる場合があります。 市では、畜産臭気対策として平成17年度より、市内畜産業者に対し、消臭剤や脱臭装置など臭気対策事業に係る補助金を交付しております。また、令和3年度より庁内横断的に臭気対策チームを組織し、畜産臭気の解明と、県や市内外の企業と連携した設備等の開発を行っております。	白井委員
9	18	住環境：畜産臭気対策 畜産業のうち、養豚は2万頭におよぶなど県内随一の産業となっていますが、臭気対策を講じていく上で、資金面を含めた今後の支援策などがあればお教えください。	畜産事業者に対する支援としては、消臭剤、脱臭装置など臭気対策事業に係る補助制度の継続と、県や市内外の企業と連携し、より効果的ない臭気対策設備の開発を積極的に行ってまいります。 また、畜舎の新設等の際のウインドレス化を推奨し、国の補助制度活用のため、県、畜産事業者と連携してまいります。	遠藤委員
10	8 16 18	道路、工業・商業、住環境 都市開発案件を全体を俯瞰した道路・企業誘致・土地の有効活用推進を総合して進捗状況を判断すると、どういった評価になるのでしょうか。実現に向けて課題となりそうな点などがあればお教えください。	現在、浜名湖西岸土地地区画整理事業を実施し、（都）大倉戸茶屋松線の整備と合わせ市をあげて取り組むことで目標である令和5年度の一部操業に向けて進捗を図っており、雇用の創出を含めて市の活性化に期待しているところです。一方、湖西市内での工業用地の需要は依然高いが、市街化区域内の工業系用地に空きがなく、紹介・提供できる用地がないため、工業用地の確保について検討する土地利活用推進本部を2021年に設立し、取り組んでいます。	遠藤委員
11	19	自然環境：自然環境が豊かであると感じる市民の割合 アンケート結果の数値が大きく減少しています。特別な要因があるのでしょうか（一時的・今後計上の発生するものなのか等）。	要因としては新型コロナウイルスの影響で環境学習の場や浜名湖クリーン作戦、緑花フェアなど環境関連の事業が多数中止となり、市民の環境保全や環境美化への活動参加の機会が失われたことが成果指標へ影響していると考えています。このことから、数値が大きく減少しているのは一時的なものであると考えます。	遠藤委員

12	22	デジタル・スマートシティの実現：行政手続きに係るオンライン利用件数 行政手続きにおけるオンライン利用件数が大幅に増加しています。オンライン化の内容と講じた推進施策があれば、お教えください。また、DX化に今後優先的に取り組む行政手続きがあればお教えください。	当市では、湖西市デジタルファースト宣言を令和3年2月に行っており、その中で、市民向けサービスのDX推進を基本方針の一つと位置付け、行政手続きのオンライン化を強力に推進しています。 令和3年度は4月に税等のキャッシュレス化、8月に手数料等のキャッシュレス化、1月には公共施設の予約をオンライン化しております。手続きの電子申請については、見やすく、使いやすい電子申請システムに切り替え、各課へのヒアリングや課ごとの個別研修を実施し、対応業務を増やすよう努めています。今後は、さらなる市民の利便性向上のため、行かない、書かない市役所を目指し、住民票などの証明書交付について、本人確認、手数料決済がすべてオンラインで行えるような仕組みの試行を予定しています。	遠藤委員
----	----	--	---	------